

1.

朝もやの中 鳥たちの 声が 響いてる 息を潜め
飛んでいく空 見上げてる 少しずつ 白く輝いてゆく

気合 いれなおし 靴紐むすんだら
いつもの様に 帽子かぶり直し
さあ 朝の透き通る空気 吸って

今 始まる 町の朝 今始まる 今日の君を
この手で受け止めて 歩こう
乾いた かぜに からだ 預けて

2.

この辺じゃ 高く 遠くまで 見渡せる
公園へ 向かってみよう
太陽が 山の向こうから 少しずつ 世界 変えはじめてる

まったくお手上げで どうしようもない事を
夜中じゅう考え込んでいたけど
うん... たいした 問題じゃないね きっと

今 始まる 町の朝 今始まる 今日の僕を
気負わず 受け止めて 歩こう
乾いた 風に からだ 預けて

ああ 溢れている こんな心地いい かおりのなか
ああ 包まれてく やさしく 力強く 光の中

ああ 何もかもが 輝き始めてる 輝いてる
さあ 朝の透き通る空気 吸って

今 始まる 町の朝 今始まる 今日の君を
この手で受け止めて 歩こう
乾いた かぜに 体 預け

今 始まる 町の朝 今始まる 今日の僕を
気負わず受け止めて 歩こう
乾いた 風に 体 預けて